

令和 4年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 畜産安全課
 担当名: 畜産振興担当
 内線: 4193

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業		
B16	畜産振興対策事業	一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	畜産経営改善対策費		
事業期間	平成27年度～	根拠法令	家畜改良増殖法第2条、酪肉振興法第2条の3、養豚農業振興法第4条～9条、養鶏振興法第18条		針路分野施策	12 儲かる農林業の推進 1202 強みを生かした収益力のある農業の確立	SDGsゴール SDGsターゲット	
1 事業の概要	畜産農家の畜産クラスター事業への参加や乳用牛の疾病対策、凍結精液人工授精技術等を活用した養豚振興対策及び飼料用米利用促進のための支援等を総合的に行うことで、本県畜産の競争力の強化を図る。		5 事業説明					
ア 畜産総合対策事業 経費節減による減	△30千円		(1) 事業内容 ア 畜産総合対策事業 経営革新指導事業 922千円 クラスター協議会の指導及び畜産経営分析の実施等 イ 酪農振興対策事業 2,409千円 酪農家の生産性阻害要因となっている牛白血病や乳房炎などの早期清浄化を図り酪農経営の安定を図る。 ウ 養豚振興対策事業 2,974千円 凍結精液人工授精技術や凍結受精卵作成技術等を活用した生産性向上やブランド豚の保護等により養豚経営の安定を図る。 エ 飼料用米利用促進事業 28千円 県内畜産農家の飼料用米地域内流通を促進するための耕種農家とのマッチング等を実施					
イ 酪農振興対策事業 経費節減による減額	△109千円		(2) 事業計画 ア 畜産総合対策事業 平成27年度～ 令和4年度 畜産クラスター協議会の指導及び畜産経営分析の実施 イ 酪農振興対策事業 平成29年度～ 令和4年度 牛白血病及び乳房炎の検査及び指導 ウ 養豚振興対策事業 平成28年度～ 令和4年度 凍結精液人工授精技術の実用化及び農家への普及・定着並びに凍結受精卵の作成 エ 飼料用米利用促進事業 平成29年度～ 令和4年度 飼料用米利用の推進					
ウ 養豚振興対策事業 経費節減による減額	△396千円		(3) 事業効果 産地競争力の強化、収益力の強化及び悪臭等環境問題の改善等に必要な施設や機器・設備の整備、並びに家畜改良の推進及び飼養技術の向上等により、本県畜産経営の安定が図られる。					
2 事業主体及び負担区分	ア (県10/10) イ (県10/10) ウ (県10/10)		(4) 補正予算の概要 経費節減に伴う減額					
3 地方財政措置の状況	普通交付税(単位費用)(区分)農業行政費(細目)生産流通振興費(細節)畜産振興費							
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×9人=85,500千円							
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△535						△535	5,798
現計額	6,333						6,333	

事業内訳書

事業名	畜産振興対策事業		
単位事業名	畜産総合対策事業	予算額	△ 30千円

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△10	—	執行留保等による畜産関係者との打合せ旅費の減
需用費	△8	—	執行留保等による事務用品費の減
役務費	△12	—	執行留保等による郵券購入費の減
合計	△30	—	

単位事業名	酪農振興対策事業		予算額	△ 109千円
-------	----------	--	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△43	—	執行留保等による農家指導に係る旅費の減
需用費	△66	—	執行留保等による事務消耗品の減
合計	△109	—	

単位事業名	養豚振興対策事業	予算額	△ 396千円
-------	----------	-----	---------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	△371	—	執行留保等による器具等消耗品費の減
役務費	△25	—	執行留保等による通信運搬費の減
合計	△396	—	